

News Release

2020年7月1日

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会（JILS）

JILS 総合研究所

「国際物流技術管理士資格認定講座（第42期）」の開講日程を確定しました。

～ 国際物流のスペシャリストを育てます～

「国際物流管理士資格認定講座」は、わが国唯一の国際物流のスペシャリスト養成講座として、1979年の開講以降、1,582名の「国際物流技術管理士（ILM；International Logistics Master）」を輩出し、産業界より非常に高い評価を頂いてまいりました。このたび、第42期の日程、カリキュラムを確定しました。

【講座名】国際物流技術管理士講座（第42期）

【主催】公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会（JILS）

【後援】経済産業省、国土交通省

【日程】全19日・2020年10月～3月（予定）

【受講料】JILS 会員（400,000円）、会員外（500,000円）/名・税別

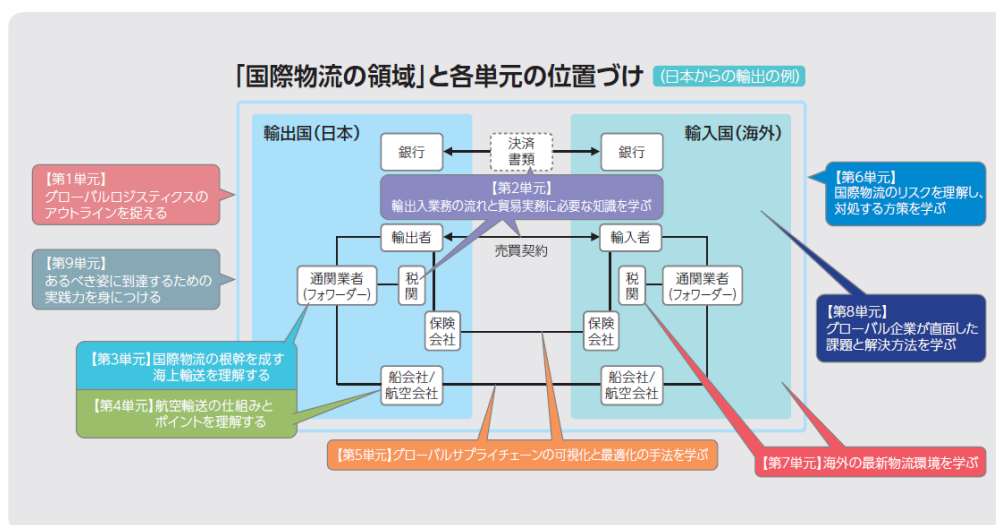
別途、有資格者優待価格有

【URL】 <https://www1.logistics.or.jp/education/ilm.html>

【講座のねらいとポイント】

全9単元の受講を通じて、自社または顧客の国際物流・グローバルロジスティクスを担うスペシャリストを育成することを目的としています。3つの特徴があります。

1. 国際物流に関する専門知識やマネジメント、最新情報や企業事例を総合的に学べます。
2. グループ討議・ケーススタディを通じて実践力を習得できます。
3. 様々な業種・役職の方々と交流を深め、実務では得がたい人脈を構築します。



詳細は、国際物流管理士資格認定講座のホームページをご覧ください。

【国際物流管理士専門委員会からの推薦文】

石原 伸志 氏

(JILS 国際物流管理士専門委員会 委員長 / 東海大学海洋学部 客員教授)

これまでも新興国における高成長や企業活動のグローバル化の進展により、企業経営においては、国際競争を勝ち抜くためのグローバルロジスティクスの重要度が高まってきました。そして、今般の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)の世界的まん延によっても、国際物流、グローバルサプライチェーンは大きく影響を受けており、グローバルに展開する企業は、拠点戦略、販売戦略を見直し、それに伴う国際物流のシステム革新、新しい形のグローバルロジスティクス体制の構築を余儀なくされています。

わが国においても、「新しい生活様式・スマートライフ」の定着等による感染拡大防止と経済再生の両立が図れていますが、グローバルでも環境の激しく非連続な変化は続いています。このような状況下では、国際物流の専門知識を持ち、幅広い視点のもと、技術革新も含めた環境の変化に積極的かつ柔軟に対応し、自社や顧客の国際物流の高度化を推進するリーダーの存在がことさら重要となってきます。

貴社の将来を担う国際物流のスペシャリストの育成に本講座を是非ご活用ください。

【ILM (International Logistics Master) 資格取得者からの推薦文】

武田 一哉 氏

(31期・SB ロジスティクス株式会社¹サプライチェーンサイエンス&ソリューション Grp
グループディレクター・国際物流管理士専門委員会委員)

私は2019年10月より、ソフトバンクグループの新しい事業であるSBロジスティクス株式会社のサービス立上げに参画しております。本講座には、外資系物流企業でファッション業界の顧客に対する倉庫オペレーション業務に従事していたころ、その当時の上司の勧めもあり受講しました(2009年度;31期)。本講座を通じて得た知識や人脈は、その後の二度にわたる中国駐在でも大いに役立ちました。

当初は「日常業務以外の物流を学びたい」くらいの気持ちでの参加でしたが、幅広いテーマでの講義やグループワークを通じ、自分の「物流」の概念がどうしても受託・担当しているスコープに閉じたものになっており、その前後にある顧客のビジネスプロセスやサプライチェーン全体、そこにある国際的ルールを理解しないままでのサービス提供になっていたことに気づきました。

「国際的なビジネスをリードできる人間になりたい」という気持ち、マインドセットを形成できたことは、これまでの自分にとっても、それから将来も色あせない大きな財産だと思っています。

¹ <https://www.sblogistics.co.jp/>

【直近の合格者の所属】

国際物流管理士資格認定講座は、主に、荷主、物流企業において国際物流の高度化を推進するリーダーとして活躍することを期待されている方が参加しています。

愛知海運(株)、東海運(株)、いすゞ自動車(株)、いすゞライネックス(株)、一宮運輸(株)、井上運送(株)、(株)ANA Cargo、ST物流サービス(株)、(株)OCS、オムロン(株)、カゴメ物流サービス(株)、(株)カネカ、上伊那貨物自動車(株)、キムラユニティー(株)、(株)クレハ、山九(株)、サントリービジネスエキスパート(株)、三洋エナジー東浦(株)、(株)サンリツ、(株)CACオルビス、JSR(株)、ジェイティ物流(株)、(株)資生堂、(株)新開トランスポートシステムズ、(株)スバルロジスティクス、住化ロジスティクス(株)、西濃運輸(株)、全日本空輸(株)、全農物流(株)、Daizen Myanmar Co.,Ltd.、田中貴金属ビジネスサービス(株)、中外製薬(株)、(株)椿本チエイン、テルモ(株)、東京海上日動火災保険(株)、(株)トクヤマロジスティクス、トライネット・ロジスティクス(株)、南海プライウッド(株)、ニチユ物流(株)、(株)ニチレイフーズ、日触物流(株)、日清物流(株)、日通NECロジスティクス(株)、日東電工(株)、日発運輸(株)、(一社)日本海事検定協会、日本通運(株)、日本デイリーネット(株)、日本特殊陶業(株)、日本パルフィンガー(株)、日本フレートライナー(株)、日本ロジテム(株)、博多港運(株)、パラマウントベッド(株)、(株)バンダイロジパル、日立建機ロジテック(株)、日立物流ソフトウェア(株)、ピレリジヤパン(株)、ファイザー(株)、(株)フクミ、(株)富士エコー、富士通(株)、(株)富士テクノトランス、富士フィルムロジスティクス(株)、ブラザーロジテック(株)、古河電気工業(株)、(株)ホームロジスティクス、ホンダロジコム(株)、丸全昭和運輸(株)、丸紅ロジスティクス(株)、丸山物流(株)、(株)ミツバロジスティクス、三菱重工エンジニアリング(株)、三菱商事(株)、三菱倉庫(株)、三菱電機(株)、(株)メタルワン、森永乳業(株)、ヤマトシステム開発(株)、ヤマトパッキングサービス(株)、(株)LIXIL、リコーロジスティクス(株)、両備ホールディングス(株)、菱和ロジテム(株)

(全84社、2016年度～2019年度の累計、50音順、社名は受講当時のものです。)

【「国際物流管理士」について】

「国際物流管理士」は、国際物流の基本から法規制や最新動向まで理解し、海外でのサプライチェーンの構築・改善できる人材、顧客に対して国際物流を含めた企画提案ができる人材、将来の海外駐在要員としてグローバル視点を持ってマネジメントができる人材です。

「国際物流管理士資格認定講座」を修了し、各種試験（レポート、客観試験）に合格し、修了基準を満たした受講者に付与されます。



【「国際物流管理士資格認定講座」の特徴】

国際物流（グローバルロジスティクス）の様々な分野の講師が、広範に渡る国際物流について概論から応用までわかりやすく解説するとともに、企業事例や物流施設見学、グループ討議やケーススタディなどを取り入れた、実務に直結するカリキュラム構成が本講座の特徴です。併せて、様々な業種・役職の方々との交流を深め、実務では得がたいヒューマンネットワーク（人脈）を構築する機会を提供いたします。

1979年の開講以来、1,582名（通算41期）の「国際物流管理士（International Logistics Master）」をわが国産業界に輩出しています（2020年3月現在）。

【Webページ（JILSホームページ）】

国際物流管理士資格認定講座

<https://www1.logistics.or.jp/education/ilm.html>

【公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会（JILS）について】

JILSは、ロジスティクスに関する調査及び研究、企画の立案及び推進、人材の育成及び指導等を行うことにより、ロジスティクスの生産性を高めるとともに外部不経済の克服等社会との調和を図り、もって我が国産業の発展と国民生活の向上及び国際社会への貢献に寄与することを目的とした公益社団法人です。

JILS Web サイト <https://www1.logistics.or.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会（JILS）

JILS 総合研究所 国際物流管理士資格認定講座担当（風間）

電子メール：ilm@[]logistics.or.jp []を外してください。

Web お問い合わせフォーム：<https://www1.logistics.or.jp/contact.html>

TEL：03-3436-3191 / FAX：03-3436-3190

お問い合わせは、電子メール、Web お問い合わせフォームを推奨しています。